

みんなで取り組む防災・減災

ねっちゃんの防災知恵袋

▼9月1日は「防災の日」

こんにちは、ねっちゃんです。

9月1日は「防災の日」。この日は1923年9月1日に発生した関東大震災をきっかけに、国民一人一人が台風、高潮、津波、地震などの災害について認識を深め、これに対処する心がまえを準備しよう」と制定されました。

◆避難経路と連絡方法の再確認を

高齢者や小さなお子さんがいる家庭は、自宅から避難所までどれくらいの時間がかかるのか、危険な所がないかなどを歩きながら確かめる「防災さんぽ」をしてみよう。

また、災害時の連絡手段や避難場所を家族や職場で話し合っておくことが大切です。災害時は電話がつながりにくい場合がありますので、災害伝言ダイヤルなどの利用方法を確認しておきましょう。



◆非常持ち出し袋をチェック！

水・食料・懐中電灯・衛生用品・非常用トイレ・電源（モバイルバッテリー）などは、最低1日分を確保しておきましょう。



眼鏡、補聴器、常備薬、お薬手帳など人から借りることが難しいものは忘れないように準備しましょう。お子さん用にお気に入りのおもちゃやお菓子をに入れておく

と役に立ちます。

ペットと避難する場合、ペットフード、水、ケージやトイ

レ用品なども用意し、避難所のルールに従いましょう。

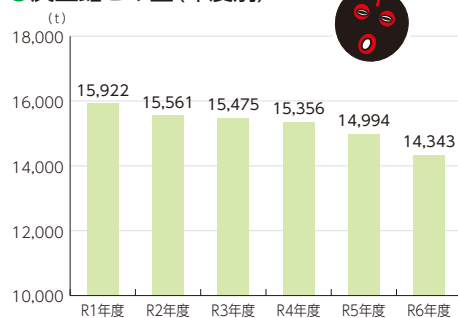
「防災の日」をきっかけに家庭や地域、職場などで防災対策を見直してみましょう。

▼防災対策課 ☎23・3548



これからもごみの減量をよろしくごみん。

●炭生館ごみ量（年度別）



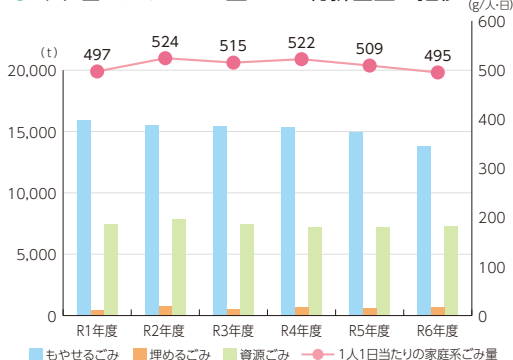
皆さんのごみの減量・分別に対するご理解とご協力のおかげで、もやせるごみの量が減ってきています。皆さんのご協力で感謝いたします。

令和6年度のごみ量報告
さらにごみを減らそう！

分別していただいた資源ごみは売却し、令和6年度は約9300万円が本市の収入になっています。売却収入は、ごみ収集などの費用

▼廃棄物対策課 ☎23・3538

●1人1日あたりのごみ量とごみ総排出量の推移



紙やプラスチックを「もやせるごみ」としてではなく、「資源ごみ」としてリサイクルするなど、引き続き分別にご協力をお願いします！

令和6年度の1人1日当たりの家庭系ごみの量（資源ごみ類除く）は495gでした。昨年度と比べると、わずかではありますが減少傾向にあります。

